



～社訓 誠意～

## 社長室だより



2019年4月末号

「平成」の世が幕を閉じる。昭和生まれで昭和の時代が長かっただけに「平成」と耳にした時はしっくりこず、何より困ったのは人の年齢を数える時に難儀した。我が二男が平成元年生まれだったので彼の年を基準に出来たのでまだ良かったが、「令和」に改められるともうダメ。これからは西暦を用いるべきだろうとも思うが世界で元号を用いている数少ない国でもあるし（確か2カ国しかないとか？）日本人の心根（ルーツ）を感じさせる「令和」を愛すべきなのだろう。このところテレビで天皇の退位の行事が報じられ、お若い時からの映像や数々のお言葉を改めて見聞きすると不思議と胸が熱くなり涙が出てくる。裕福な家庭で育ったとはいえ一般人から皇室に嫁ぎ、3人の子育てをしながらの美智子様の内助の功は想像もつかない苦難の多い事だっただろう。それを見事に自分の意思も貫きながらのご公務。今でも天皇の腕にそっと手を添え歩く姿を拝見すると「ほっこり」する。周りの人への感謝とねぎらいの言葉は相手の心を和ませる。悲しみも怒りも憎しみも癒え、希望と活力を生み出す力を持っていた。私も私にかかわる多くの人たちに心に触れるお付き合いをしたい。「誠意」と言う言葉の中にその思いが入っていると思う。今自分に出来る事をとにかく一生懸命やる。自分に押し寄せる難問は正面から向き合い1つ1つ対応する。つらいな～と思ったら上をみて深呼吸して笑う。下を向かない。たくさん「おしゃべり」してたくさん知識と情報を頂き、それを又活かして自分も成長したい。誕生日を迎え、還暦年も終了今年こそ生まれかわりの元年＝令和元年の初めの月が5月なんて。

「こいつは春から縁起が良いわいな！」手始めにちまたでは10連休(皆さんの一部の方も)だが、英気をやしないつつも仕事に励み、また日本の世紀の一大イベントを拝見しながらゆくゆくは訪れる私の「いさぎよい引き際について」にも時間を割いてみようかとも。これ実は10年計画なのです。10年後の70歳を五体満足に迎え、夢の世界一周、しかもビジネスクラスで(ファーストクラスで無いのがよりリアルでしょう!)ホテルはそこそで充分。史跡・大自然に触れて、美味しいものをたらふく自分の歯で食べて帰国後は若い人たちに空手をはじめスポーツを教えながら今度は日本国内を旅する。観劇や映画観賞・コンサート・etc。色々なイベントに参加して脳に刺激を与えて認知にならないように心身ともに鍛え、海を観ながら温泉に入りキンキンに冷えたビールを毎晩飲む!!今すぐやりたいけど後10年。鈴木運送を盤石にする使命を果たす事が最優先だから。皆ついてきてよ!



5月にお誕生日を迎えるみなさん

5月15日 森 英二 本社・空港貨物輸送担当  
5月20日 加川 一江 代表取締役

